

私たちも盛り上げます!

霧島国際音楽祭は、地域の方々による積極的な協力やボランティアに支えられていることも特徴の一つです。



鹿児島交響楽団

7月24日(日)に、みやまコンセールで行われる「オープニング・スペシャル・ガラコンサート」で演奏する鹿児島交響楽団は、昭和48年設立の伝統あるオーケストラです。

鹿児島交響楽団 ひくだ まさき 福田 正樹さん

日本を代表するトップアーティストの方々の中での演奏は緊張しますが、勉強になります。今年で3回目になりますが、一緒に演奏をさせていただくたびに団員のレベルも上がってきていると実感します。今回も胸を借りる気持ちで演奏し、刺激を受けていきたいです。

霧島国際音楽祭は、趣向を凝らしたプログラムが組まれていて、クラシックになじみのない方にも楽しんでいただけたと思います。肩に力を入れずに気軽にコンサートを聴きにきて、音楽の素晴らしさを感じてもらえたらいいですね。



牧園友の会

音楽祭の期間中、ホテル住まいとなる関係者にランチバイキングを提供する地元の「牧園友の会」。心配りの行き届いた友の会の活動は、参加するアーティストや受講生から「これを楽しみに鹿児島に来ました」という声が出るほどで、音楽祭の魅力の一つとして愛されています。演奏会の受付、場内整理などもボランティアで行っており、音楽祭には欠かせない存在です。

牧園友の会 まるの りょうこ 丸野 涼子さん

自分たちの暮らす町に世界的な音楽祭があるのは、本当にすごいことですね。音楽祭が始まると、先生方が「ただいま」と霧島に帰ってこられることが何よりもうれしいです。

霧島国際音楽祭が愛される秘訣は、音楽祭に関わる全ての方が、霧島を、音楽祭を大切に思っていることだと思います。これからも、楽しみながら音楽祭を盛り上げていきたいです。



「芸術家への道」事業

音楽祭終了後、音楽家を志す県内の若者を対象にした講習会が実施されます。音楽祭でも活躍した国内外の音楽家による専門性の高い実技指導を主体にした講習会は、集まった若者の意欲を一層高める機会になっています。

12月には、「みやま若い芽のコンサート」と題して、受講生と県出身の若手演奏家によるコンサートが催されます。

次世代につなぐ音楽の絆

下野竜也氏による吹奏楽クリニック

鹿児島県出身の世界的指揮者、^{しもの たつや}下野竜也氏によって平成22年に始まった吹奏楽クリニック。自身もトランペット奏者として吹奏楽で育ち、もともと教師志望であったこともあり、「若い世代に音楽の楽しさ、素晴らしさを感じてもらいたい。音楽のよさを伝えていくことで鹿児島に恩返しをしたい」という熱い思いでスタートしました。

県内の小・中・高等学校の吹奏楽部に下野氏が直接訪問し指導するレッスンは、曲目以外の事前の打ち合わせは全くありません。下野氏が初対面で個性を見抜き、レッスンを行います。音の変化に感激し泣き出す児童や生徒も続出するとか。去年は、下野さんの母校でもある鹿児島市立武中学校をはじめ9校でクリニックが行われました。今年の夏も10校で開催予定です。



^{まつおか ななみ}鹿児島市立武中学校 3年 松岡 七海さん(平成22年受講)

下野先生の指導で、とても印象に残っているのは「楽器は、あくまでもみんなの声を変えている道具。演奏する曲をしっかりと理解し、歌うように心を込めて吹く」という言葉です。当たり前のことだけ大切なことだと感じました。とてもいい経験になりました。

マスタークラス



音楽祭期間中には、国内外の著名な音楽家による実践的カリキュラムの講習会が実施され、日本のみならず世界各国からレベルの高い受講生が集まります。

現在参加する教授陣やアーティストの中には、かつてこのクラスで学んだ修了生が多くいるのも特徴。音楽の絆が受け継がれています。

マスタークラスのレッスンは、一般にも公開されます(有料)。

^{かみの ちえ}神野 千恵さん(マスタークラス受講生)

この音楽祭の魅力は、レッスンを受けることだけでなく先生方が出演するコンサートもたくさんあること。同じ目標を持つ仲間と知り合えることも楽しみの一つです。



マスタークラス修了生



チェリスト

^{はせがわ ようこ}長谷川 陽子さん (1989年マスタークラス修了生)

学ぶことが多く睡眠時間も少なかったことを覚えています。演奏家でもある講師の先生と寝食を共にしながらの2週間は、貴重な体験でした。当時からプロの音楽家としてやっていきたいと思っていましたので、ステージマナーや練習の仕方なども教えていただきました。チェロ以外のレッスンも見ることができましたし、いろいろな先生と話す機会もあったので、音楽の幅が広がったと思います。

〈プロフィール〉

第54回日本音楽コンクール第2位。1989年、文化庁派遣在外研修員として、フィンランドのシベリウス・アカデミーに留学し、首席で卒業。1990年、ロストロポーヴィチ国際チェロ・コンクール特別賞受賞。1989年第10回霧島国際音楽祭賞受賞。

クラシック三昧の夏

～お薦めコンサート～

7月20日(水)に県庁ロビーで行われるプレコンサート「県民ふれあいコンサート」を皮切りに、音楽祭がスタートします。期間中、世界で活躍する50人以上の音楽家が40公演以上の音楽の祭典を繰り広げ、鹿児島が心を揺さぶる豊かな音色で包まれます。



オープニング・スペシャル・ガラコンサート

日時：7月24日(日)午後4時開演 場所：みやまコンセール 主ホール

音楽祭出身(マスタークラス)でもある成田達輝^{なりた たつき}氏、ホワン・ソジン^{がいせん}氏の凱旋公演。バックの鹿児島交響楽団の演奏では、鹿児島出身の指揮者海老原光^{えびはら ひかる}氏がタクトを振ります。



キリシマ祝祭管弦楽団公演

日時：7月28日(木)午後7時開演 場所：宝山ホール

下野氏、堤氏、榎本氏によるブラームスのドッペルコンチェルト(ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲)や、ベートーヴェンの交響曲第2番などを演奏。NHK交響楽団、読売日本交響楽団をはじめ、日本最高のオーケストラの首席奏者たちが集まるオールスター・オーケストラ。



サタデーフェスティバル(音楽の散歩)

日時：7月30日(土) 場所：みやまコンセール 主ホール

霧島国際音楽祭を代表するアーティスト5人によるプロデュース公演が、それぞれ1,000円で気軽に楽しめます。公演時間は、全て45分。

各公演の合間には、小ホールなどで30分のロビーコンサートが開催されるなど、一日中楽しめる企画がめじろ押しです。



サンデーフェスティバル(音楽の散歩)

日時：7月31日(日) 場所：みやまコンセール 主ホール

金管・木管の名手が勢ぞろいの「管」の祭典!!、吉俣良^{よしまたりょう}氏らによる「ファミリー・コンサート」、チェロ20本以上からなるオーケストラによる「チェロ DE オペラ」の豪華3本立て。



ピアノ!ピアノ!!ピアノ!!!

日時：8月5日(金)午後7時開演 場所：鹿児島市民文化ホール 第2ホール

ソロから連弾・4台8人16手まで11人のピアニストによる祭典。オーケストラをも超えるダイナミックさで観客を魅了します。



ファイナル・コンサート

日時：8月7日(日)午後2時開演 場所：みやまコンセール 主ホール

最後を飾るにふさわしく下野竜也氏がみやまコンセールに登場。ベートーヴェンのピアノ協奏曲「皇帝」とブラームスの交響曲第3番というぜいたくな組み合わせで音楽祭を締めくくります。

このほかにも霧島神宮で行われる「かがり火コンサート」や鹿児島空港で行われる「エアポート・コンサート」など、一流の音楽を気軽に楽しんでいただけるコンサートが盛りだくさんです。

◆ 霧島国際音楽祭に関する情報は、霧島国際音楽ホール(みやまコンセール)へお問い合わせください。

☎ 0995(78)8000 <http://www.kirishima-imf.jp/>